

TV
JUMPER for CAN

取扱説明書

この度は、BLITZ『TV JUMPER for CAN』ならびに、『TV-NAVI JUMPER for CAN』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
使用方法や諸注意に関しては、本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用をお願いします。

注 本製品は日本国内専用設計です。詳しくは、本取扱説明書「ご使用上の注意事項」をご覧ください。

重 本製品には、保証書が同梱されています。必ずカスタマー登録を行ってください。カスタマー登録されませんと、保証が無効になる場合がありますのでご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

重 取り付けや車種別の注意事項は、「車種別取付説明書」をよくお読みになった上で、ご使用ください。

● 自動車ディーラー入庫時について

本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

注意記号

危	この表示を無視して誤ったご使用をすると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性が想定される内容であることを示しています。
警	この表示を無視して誤ったご使用をすると、法律に違反する可能性が想定される内容であることを示しています。
注	この表示を無視して誤って取り付けをすると、人が怪我を食う、もしくは、車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容であることを示しています。
重	本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

TV-NAVI
JUMPER for CAN

製品内容一覧

TV JUMPER 本体・・・1

コンパクトスイッチ
スイッチアダプター・・・1

車種別接続ハーネス・・・1



※製品によりコネクタ形状が写真と異なります。

本体固定用両面テープ・・・1

取付・取扱説明書・・・1

保証書・・・1

ご使用上の注意事項（必ずお読み下さい）

危	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中のテレビ視聴やナビゲーションの目的地設定をする為に開発された製品です。運転者は運転中絶対にテレビを見ないでください。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないでください。
警	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると、安全運転義務違反となりますので、走行中はテレビを映さないでください。
重	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
重	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
重	スイッチをオンにした時から、ナビゲーションの自車位置が狂うことがあります。スイッチをオフにし、しばらく走行すると自社位置が正常な位置に戻ります。
重	本製品を取り付けても走行中に TV を見たり、ナビを操作したりすることを可能にする以外の機能はありません。
重	本製品を使用して発生した事故・違反行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。
注	本製品は日本国内のみで使用が可能です。万が一、適合車種に取り付けていた場合でも日本国外で使用された場合は、保証の対象外になります。また、適合車種以外に取り付けた場合も保証の対象外になります。
注	車検や点検などで自動車ディーラーなどへ入庫する場合は、必ず本製品を取り外して入庫してください。

取り付け上の注意事項（必ずお読み下さい）

注	取り付けの際は必ず安全な場所でエンジンを停止させ、5 分以上経過してからバッテリーのマイナス端子を外し、作業を行ってください。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどをしてください。
注	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は、破損・汚損及びネジ等の紛失には十分に注意して作業を行ってください。
注	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐ引き抜いてください。無理に引っ張ると、車両側ハーネス及びコネクタ、ナビユニット側コネクタピン及び基盤等が破損や、断線する恐れがあります。
注	ハーネスの接続はコネクタがカチッと言音が出るまでしっかりと差し込み、接続不良を起こさないように注意してください。
注	本製品は車両側の適切な場所へ両面テープ（製品付属）やタイラップ等で固定してください。固定しないと接触不良や断線の原因になる恐れがあります。
注	取り付けの際は、シートベルト、ベダル類、ドアなどの可動部にハーネス類や本体の挟み込み、また挟まれる可能性がある場所には、設置しないでください。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあり危険です。
危	取り付け終了後に走行を伴う動作テスト等を行なう際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方が動作テスト作業を行ない、運転手はモニターを注視しないでください。
重	本取扱説明書に取り外し要領が記載されていない車両の作業を行なう際は、あらかじめその車両の内装脱着要領の資料を入手し、養生等をしっかりと慎重に行なってください。

スイッチについて（必ずお読み下さい）

注	エンジンを切り、キーをロックしてもしばらくは車両との通信が行なわれていますが、車両との通信が終了（OFF モード）時は、コンパクトスイッチが自動で消灯します。※車種によっては消灯するまでの時間が長い場合があります。
注	OFF スタートモードの場合、スイッチが淡く点灯し（ノーマル状態）、ノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定はできません。
注	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビの視聴や目的地設定をする事ができません。
注	テレビを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。その場合は、スイッチを OFF 状態にしてしばらく走行してください。GPS を受信して自動的に補正され正規の自車位置へ復帰します。停車中や屋根がある場所では GPS をうまく受信できず補正されないのが必ず屋外を走行してください。車両によって目的地設定をする際、自車位置がその場で固定され走行中の正規の現在地に対してズレが生じます。その際は、OFF モード（淡く点灯）または TV モード（点灯）に切り替えて走行をすると、正規の現在位置へ自動修正されます。

Q.---ON スタート状態に設定した場合、コンパクトスイッチは接続しなくても使用可能ですか？

A.---使用できません。ON スタート状態、OFF スタート状態に関わらずスイッチは必ず接続してください。

Q.---走行中、DVD や Blu-ray Disc は視聴可能ですか？

A.---視聴可能です。ただし、ナビ、オーディオユニットに DVD や Blu-ray Disc の再生機能がある場合に限ります。

Q.---本製品を取り付けてからパワーウィンドウなどが操作できなくなりました。故障ですか？

A.---取り付けの際、バッテリーのマイナス端子を外した事によって、車両の設定がリセットされてしまった可能性があります。
取付説明書の「取り付け後の確認作業事項」をご覧ください。

Q.---製品を取り付けた状態で車検は通りますか？

A.---問題ありません。
ただし、コンパクトスイッチや本体を運転や視界の妨げとなる位置に取り付けた場合は車検に通らない場合があります。
また、自動車ディーラーや販売店などに車検や点検等で出す場合は、必ず本製品を取り外してください。

Q.---エンジンをかけたらチェックランプが点灯し、TV が見られません。

A.---コンパクトスイッチ点滅している場合は、車両との CAN 通信が正常に行えていない可能性があります。
取り付け手順に従い、再度取り付け確認を行ってください。
また、取り付けの際にハーネスがしっかりと挿し込まれていない場合や、ナビ、オーディオユニットや内装パネルに挟み込まれ、
ハーネスが破損していないか再度ご確認ください。
※チェックランプが点灯した状態での走行は非常に危険です。速やかに車両を安全な場所へ停車し、エンジンを切り、
まずは販売店・取り付け店に相談してください。

Q.---TV モード（TV 視聴可能）なのに音声のみで映像が映りません。

A.---車種によっては、TV 視聴可能になるまでに時間がかかる場合があります。
TV JUMPER が ON 状態になっているかご確認ください。

Q.---エンジンを切っても、コンパクトスイッチの赤 LED が消えません。大丈夫ですか？

A.---車両のエンジンを切っても CAN の通信が動作しているため LED が光っています。
車両を施錠してしばらくすると CAN 通信が停止し、コンパクトスイッチの LED が消灯します。
メーカーや車種によって通信が終了する時間までが異なり、CAN 通信が停止するまでに最大 15 分程度かかる場合があります。
※しばらくしても消えない場合は、点検または、本体を取り外しサポートセンターまでお問い合わせください。

Q.---コンパクトスイッチが高速で点滅しています。

A.---コンパクトスイッチが約 0.5 秒間隔で高速点滅状態になった場合、車両との CAN 通信が正常に行えていません。
エンジンを始動し、車両の CAN 通信を正確に認識すると通常の動作モードに移行します。

Q.---アイドリングストップが動作しなくなりました。故障ですか？

A.---バッテリーのマイナス端子を外したことによって、設定が初期化されてしまい、アイドリングストップが動作しなくなる場合があります。
詳しくは取付説明書をご覧くださいか、自動車ディーラーにお問い合わせください。

Q.---バッテリーのマイナス端子を外す、または取り付ける際に注意する事はありますか？

A.---感電の恐れがありますので、水などで濡れている場合はしっかり水分をふき取り、ゴム手袋をつけるなど絶縁してから慎重に作業を行なって下さい。また、外した端子の先には、ウエスや雑巾などを巻いて、端子がバッテリーなどに直接触れないようにしてください。

Q.---メーカーでのナビのバージョンアップや、車両の定期点検などに出す際の注意点はありますか？

A.---ナビのバージョンアップ、修理・点検などで自動車ディーラーに入庫する場合は必ず本製品を取り外してから入庫してください。
また、本製品を装着した状態でナビのバージョンアップを行った場合、本製品が破損する可能性が考えられます。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて

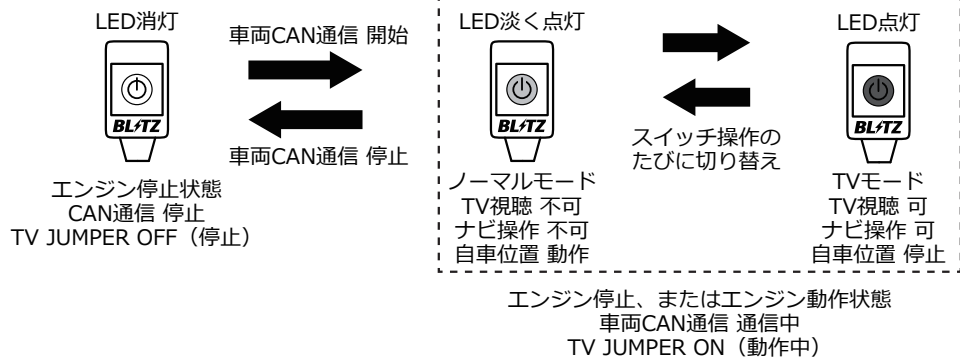
製品に関するお問い合わせ、ご連絡は電話にて下記宛にお願いいたします。

☐ 連絡先 **株式会社ブリッツサポートセンター**
☐ 住所 **東京都西東京市新町 4-7-6**
☐ TEL **0422-60-2277**
<http://www.blitz.co.jp/>

NCT47

操作・取付説明書

コンパクトスイッチ動作



▲ 注意

本製品が適合する車両はエンジンを停止しても車両のCAN通信がすぐに停止しないため、コンパクトスイッチのLEDはしばらく点灯し続け、コンパクトスイッチが操作できる状態のままとなります。

車両をドアをロックして一定時間が経過するか、ドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が一定時間行われなければ、車両のCAN通信が停止し、コンパクトスイッチのLEDも消灯します。

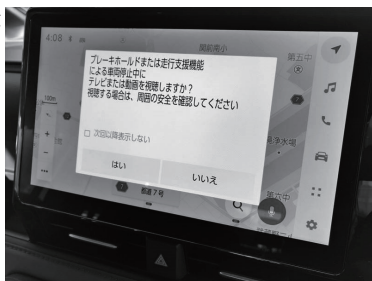
また、コンパクトスイッチのLEDが消灯状態でエンジンを始動していなくても、車両のドアロックの解除やドアの開閉、ペダルや車内のスイッチ類の操作が行われると、車両のCAN通信が開始され、コンパクトスイッチのLEDが点灯しますが、製品の不具合ではありません。

ブレーキホールドについて

本製品はTVモード時（TV視聴可能状態）でブレーキホールド機能をONにし、ブレーキホールド機能が作動した場合、右写真のような確認画面が表示されます。

確認画面を表示しないようにするためには、ナビゲーションの設定で確認画面の表示有無の設定を変更してください。

詳しくは、ナビゲーションシステム取扱書をご確認ください。



▲ 使用上の注意事項 ▲

本製品はTVモード時（TV視聴可能状態）ではナビゲーションの自車位置が不正確になるため、目的地設定時のルート案内を正しく行うことができません。

また、ナビゲーションの自車位置の情報を使用するアドバンスドドライブ（渋滞時支援）やG-Linkの検索や案内などの機能も使用できません。

ルート案内やアドバンスドドライブ（渋滞時支援）、G-Linkのサービスを使用する場合はTV-NAVI JUMPERをOFF状態（TV視聴不可状態）にしてしばらく走行し、ナビゲーションの自車位置が正しい位置に戻ったことを確認してから使用してください。

▲ 純正ドライブレコーダーについて ▲

本製品はTVモード時（TV視聴可能状態）ではナビゲーションの自車位置が不正確になるため、標準装備およびメーカーオプションのドライブレコーダーで記録したデータの位置情報が不正確になります。

「手動録画」「イベント録画」「駐車中の録画」の「録画地点」で地図上に表示されるアイコンが、実際に録画した地点とは異なる場所に表示される場合があります。

録画日時や走行速度は正確な情報が記録されます。

▲ TV-NAVI JUMPER NCT47 ご使用についての注意事項 ▲

本製品 TV-NAVI JUMPER NCT47 を使用するにあたり、注意していただく点がございます。

別紙の「TV-NAVI JUMPER NCT47 ご使用についての注意事項」をご確認いただき、内容を理解した上で使用をお願いします。

▲ 注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、イグニッションOFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要です。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に車両の使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・イグニッションOFF後もナビ画面が表示し続ける場合は、ACCカスタマイズの設定をONに変更してください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでのドア開閉が行えなくなるため、メカニカルキーが車内にあるとキー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、メカニカルキーを常に携帯して作業を行ってください。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（5 か所）を外し、インストルメントフィニッシュパネルを取り外してください。（図 A）
- ③ かん合（4 か所）を外し、コンソールアップパーパネルを取り外してください。（図 B）
- ④ シフトノブを反時計回りに回して取り外してください。
かん合（4 か所）とコネクタ類を外し、シフトホルルドカバーを取り外してください。（図 C）
- ⑤ かん合（2 か所）を外し、コンソールボックスホルルカバーを取り外してください。（図 D）
- ⑥ かん合（11 か所）とコネクタ類を外し、コンソールアップパーガーニッシュ右を取り外してください。（図 E）
- ⑦ かん合（9 か所）を外し、コンソールアップパーガーニッシュ左を取り外してください。（図 F）
- ⑧ かん合（7 か所）を外し、コンソールパネル SUB ASSY を取り外してください。（図 G）
- ⑨ かん合（4 か所）とコネクタ類を外し、コンソールパネルを取り外してください。（図 H）

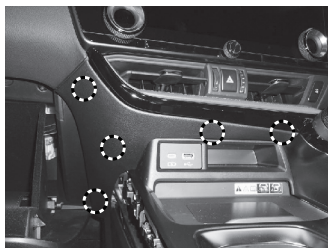


図 A

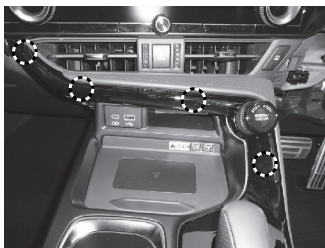


図 B

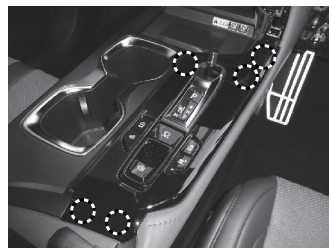


図 C

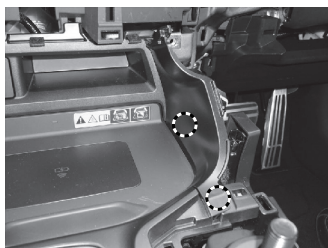


図 D

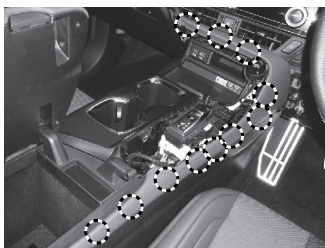


図 E

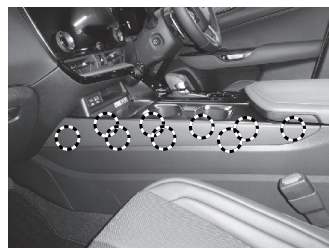


図 F

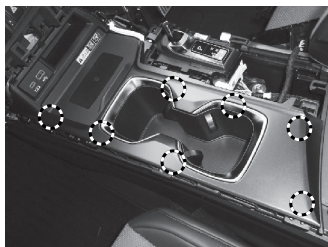


図 G



図 H

○ かん合 □ ボルト

- ⑩ 運転席アンダーカバーのネジ（1 か所）を外し、アンダーカバーを図 J のように浮かせ、かん合（5 か所）を外して、インストルメントフィニッシュパネルを取り外してください。（図 I）
- ⑪ かん合（5 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントレジスタ ASSY を取り外してください。（図 K）
- ⑫ ラジオレシーバー ASSY を下からのぞき、30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 L）
- ⑬ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑭ 配線の濡れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑮ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑯ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。

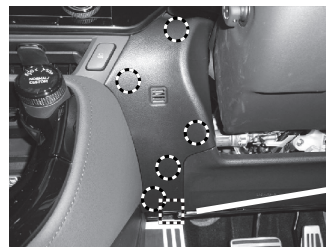


図 I

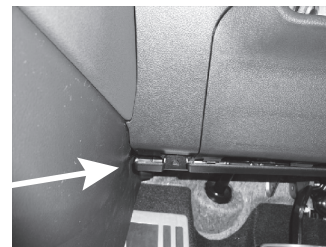


図 J

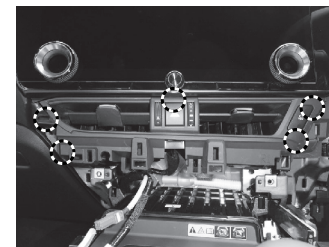
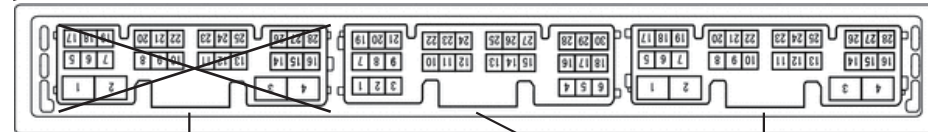


図 K



図 L

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を
正面下側から見ています。
左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクタ

左側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

30 極コネクタ

28 極コネクタ

中央と右側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★ストップアンドスタートシステム

約 5 ～ 60 分、ストップアンドスタート制御が作動するまで車両を走行する。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム

車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する

★パワーバックドアシステム

バックドアを手動で全閉にする。

注意

- ・バッテリーのマイナス端子を外す作業を行う際は、イグニッションOFF後、6分以上経過してから、バッテリーの取り外し作業を行ってください。
- ・ナビゲーションのセキュリティロックの設定が有効になっている場合、作業後にパスワードの入力が必要となります。あらかじめセキュリティロックの設定をOFFにするか、作業後に車両の使用者様にパスワードの入力を依頼してください。
- ・イグニッションOFF後もナビ画面が表示し続ける場合は、ACCカスタマイズの設定をONに変更してください。
- ・バッテリーのマイナス端子を外すとeラッチシステムでのドア開閉が行えなくなるため、メカニカルキーが車内にあるとキー閉じ込みとなります。車両の窓を開けた状態で、メカニカルキーを常に携帯して作業を行ってください。

- ① バッテリーのマイナス端子を外します。
- ② かん合（11 か所）を外し、左右のコンソールアップパーパネルを取り外してください。（図 A、B）
- ③ かん合（8 か所）とコネクタ類を外し、インストルメントレジスタ ASSY を取り外してください。（図 C）
- ④ ラジオレシーバー ASSY を下からのぞき、30 極、28 極コネクタに本製品の TV ハーネスを接続してください。（図 D）
- ⑤ 適当な場所へ本製品本体を収納してください。
- ⑥ 配線の潰れや金属部分への接触がないか確認しながら戻してください。
- ⑦ バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
- ⑧ 動作確認をして、正常なことが確認できましたら、取り外した内装などを全て元に戻して作業終了です。

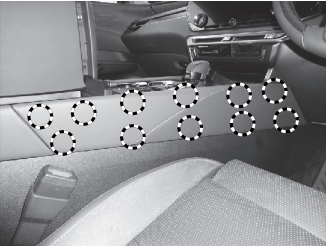


図 A

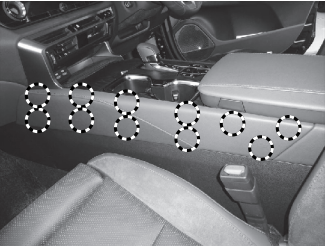


図 B

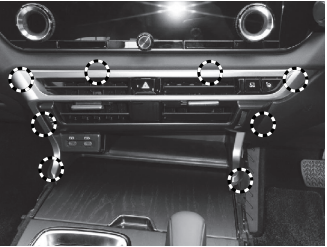


図 C

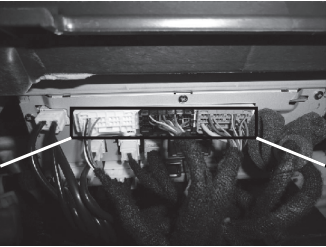
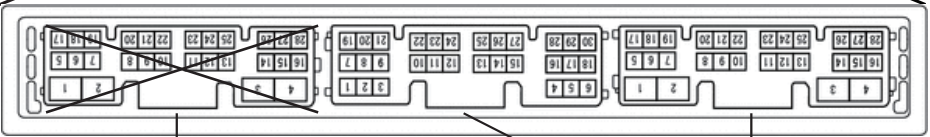


図 D

▼ 注意 ▼
ラジオレシーバー ASSY を
正面下側から見ています。
左右の間違いにご注意ください。



28 極コネクター

30 極コネクター

28 極コネクター

左側（助手席側）には
本製品のハーネスは接続しません。

中央と右側（運転席側）に
本製品のハーネスを接続してください。

取り付け後の学習、再設定作業

バッテリー端子を外す事でシステムの学習が一部リセットされます。必要に応じて学習を行ってください。事前に自動車ディーラーに必要な学習、再設定方法を確認してから作業を行うことをお勧めします。下記は一例となります。

★ストップアンドスタートシステム

約 5 ～ 60 分、ストップアンドスタート制御が作動するまで車両を走行する。

★フロントカメラシステム、アダプティブハイビームシステム、ライティングシステム

車速 35km/h 以上で 5 秒以上直進走行する

★パワーバックドアシステム

バックドアを手動で全閉にする。

TV-NAVI JUMPER NCT47をご使用いただく際には、下記内容をご理解いただきご使用いただきますようお願いいたします。

■ レーダークルーズモードで走行中のエラー表示について

車両がレーダークルーズモードの状態、TV-NAVI JUMPER（適合品番：NCT47）を ON（TV 視聴可能）にして 60km/h※以上で走行を続けると、車両のメーター上に「機能停止 取扱書を確認」というメッセージが表示され、LEXUS Safety System+（Toyota Safety Sense）および Lexus Teammate（トヨタチームメイト）の一部の機能が正常に作動しない状態となります。60km/h※以上で走行を続ける際は、TV-NAVI JUMPER を OFF にしてください。※条件となる車速・時間は、車両の状況・条件などで変わることがあります。

・エラー表示内容



レーダークルーズコントロールのアイコンが橙色で点灯し、システム異常と判断され、機能が停止します。

「機能停止」のメッセージが出ます。メッセージを消しても、一定時間経過で再度メッセージが出続ける状態となります。

※ ナビ画面に販売店に点検を促すメッセージが表示される場合があります。

※ 車両メーターのデザインや表示内容は車種や装備により異なります。

このメッセージが出ている時は、下記の機能が使用できない状態です。

- ・レーダークルーズコントロール
- ・Advanced Drive（渋滞時支援）
- ・レーンチェンジアシスト（LCA）
- ・レーントレーシングアシスト（LTA）

このメッセージは、エンジンを再始動することで消え、各システムが使用可能な正常な状態に戻ります。また、製品の特性上、車両 ECU にはダイアグコードが記録されることがあります。

車両がレーダークルーズコントロールモードの場合は、クルーズコントロールモードに切り替えた上で、レーントレーシングアシスト（LTA）の機能を OFF にすることでエラー表示を消すことができます。

■ クルーズコントロールモードで走行中のエラー表示について

車両がクルーズコントロールモードの状態、TV-NAVI JUMPER（適合品番：NCT47）を ON（TV 視聴可能）にして 60km/h※以上で走行を続けると、車両のメーター上に「機能停止 取扱書を確認」というメッセージが表示されます。60km/h※以上で走行を続ける際は、TV-NAVI JUMPER を OFF にしてください。※条件となる車速・時間は、車両の状況・条件などで変わることがあります。

・エラー表示内容



「機能停止」のメッセージが出ます。

※ 車両メーターのデザインや表示内容は車種や装備により異なります。

車両がクルーズコントロールモードの場合は、レーントレーシングアシスト（LTA）の機能を OFF にすることでエラー表示を消すことができます。

・レーントレーシングアシスト（LTA）OFF の方法



上記のエラー表示が表示中に、レーントレーシングアシスト（LTA）ボタンを押すことで、エラー表示を消すことができます。

※ ステアリングスイッチの配置は車種や装備により異なります。

製品の特性上、車両 ECU にはダイアグコードが記録されることがあります。